

# 引っ越し、処分で困ったのは？

## 粗大ごみや不用品の処分で困ったことがある？



## 引っ越しを機に処分したものは？



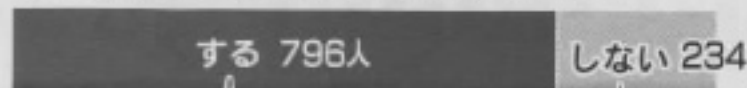
## 処分した理由は？

- たんすが大きくて部屋の入り口に入らなかった(50代女性)
- 新しい住まいでは新しいものを使ったかった(30代男性)
- 新居では使えない「煙突ストープ」だった(30代女性)

## 処分に困ったものは？

- 家電リサイクル法で簡単に廃棄できないテレビや冷蔵庫(20代女性)
- 大量の古い書籍。重いし、売っても二束三文にしかならない(30代男性)
- 別れた彼氏からもらった思い出の品が捨てられない(20代女性)

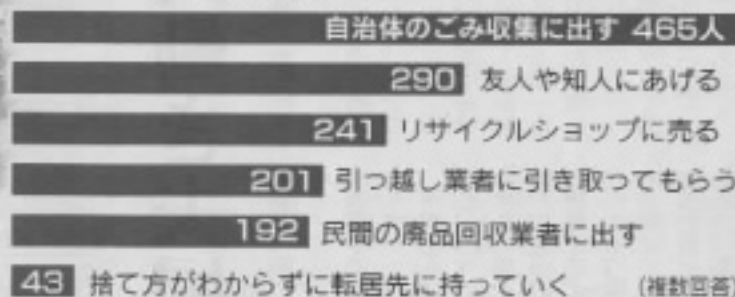
## 引っ越し先の近所にあいさつは？



「荷物の搬入時間を知らせるため」(30代女性)

「独身女性のひとり暮らしと知られたくない」(20代女性)

## 粗大ごみや不用品をどう処分する？



## 引っ越しの失敗談

- 友人に手伝いを頼んだらかえって高くついた(20代男性)
- 新居に入ると思っていた家具が入らず、引っ越し先で処分せざるを得なかった(50代女性)
- へそくりをごみと一緒に捨てられた(50代男性)
- 料金の安さばかりに気をとられ、対応が悪い業者を選んてしまった(10代男性)
- 夜遅くに引っ越しの準備をして、マンション階下の住民から苦情を受けた(30代男性)

あなたは  
**どどど**  
ち

ネット調査の結果は

## 引っ越し代、平日は半額も

引っ越し費用を抑えるためにはまず、複数の引っ越し業者から見積もりを取って比較する。オールアパウトの「引っ越し・新生活」ガイドの森真奈美さんは「大手だけでなく、地元業者も入れて三、四社から見積もりを取るといい」と助言する。他社との料金を比較しながら交渉すると「値下げすることもある」(日本通運)。

見積もりはインターネットでも取れるが「担当者に訪問してもらい、実際の荷物を見せたほうが確実」。引っ越し当日は見積もり担当者や別の人が作業することが多いため、壊れやすい物などは現場の責任者に改めて伝えることが重要だといふ。

引っ越し費用を抑えるためにはまず、複数の引っ越し業者から見積もりを取って比較する。オールアパウトの「引っ越し・新生活」ガイドの森真奈美さんは「大手だけでなく、地元業者も入れて三、四社から見積もりを取るといい」と助言する。他社との料金を比較しながら交渉すると「値下げすることもある」(日本通運)。

見積もりはインターネットでも取れるが「担当者に訪問してもらい、実際の荷物を見せたほうが確実」。引っ越し当日は見積もり担当者や別の人が作業することが多いため、壊れやすい物などは現場の責任者に改めて伝えることが重要だといふ。

引っ越し費用を抑えるためにはまず、複数の引っ越し業者から見積もりを取って比較する。オールアパウトの「引っ越し・新生活」ガイドの森真奈美さんは「大手だけでなく、地元業者も入れて三、四社から見積もりを取るといい」と助言する。他社との料金を比較しながら交渉すると「値下げすることもある」(日本通運)。

見積もりはインターネットでも取れるが「担当者に訪問してもらい、実際の荷物を見せたほうが確実」。引っ越し当日は見積もり担当者や別の人が作業することが多いため、壊れやすい物などは現場の責任者に改めて伝えることが重要だといふ。

## 「不用品やごみ」7割

もうすぐ春の引っ越しシーズン。転動などで新しい住まいに移る際に、粗大ごみの扱いに苦労する人も多い。インターネット調査会社のマクロミルを通じ、粗大ごみや不用品について聞いた(二月中旬実施、有効回答数千三十)ところ、約七割の人が処分に困ったことがあると答えた。

粗大ごみについては「自治体の手続きが面倒でよくわからない」といった意見が自立した。自分で収集場所に出す必要がある「大きな家具は運び出すのが大変」(三十代女性)との声も多かった。

引っ越しを機に、家具や家電を処分したことがある人は七割。カーテンやカーペット、ソファなどの家具は「長く使った古くなった」(四十代女性)ので処分したという人が多く、一方、転居先の部屋が狭くて

入らないためにやむなく処分したという人も。粗大ごみの処分法で最も多かったのは「自治体のごみ回収に出す」で四割。若い世代では、ネットオークションで売る人も多かった。捨て方が分からず結局、転居先に持っていったという人も。引っ越していったという人も。引っ越し作業を業者に頼まず「自分一人で行う」「友人や家族に頼む」と答えた節約派は合わせて四割だった。

転居先の近所へのあいさつは約八割が実践。「搬入作業が迷惑をかけることもある」(三十代女性)ので、事前にあいさつしておく周囲の印象も良くなるという。

## 粗大ごみ回収、市区町村で違い

粗大ごみは市区町村ごとに分別の基準や回収方法が異なり、大きさなどに制限があることもある。窓口で連絡して回収日と場所を開き、有料なら専用シールを購入して捨てる物に張って出す、という手続きが一般的だ。自分で収集施設に持ち込めば無料や割引料金になることも。ただし、持ち込みを受け付けていない自治体もある。

注意したいのが家電。エアコンやテレビ、冷蔵庫、洗濯機はリサイクルが義務付けられており、粗大ごみの対象外だ。購入した販売店などで引き取ってもらうか、自分でリサイクル施設まで運ぶ必要がある。パソコンもメーカーなどに引き取ってもらうなければならない。

## テレビなどリサイクル義務付け

引っ越し時の損害への対策に注意したい。すべての段ボール箱を片づけ終わるのは「一カ月以内」と答えた人が三割と最も多かったが、なかには「次の引っ越しまで開けない」という人も。森さんは「片づけなくても、中身の確認だけは早めにした方がいい」と指摘する。作業中に荷物が壊れたり紛失したりした場合は、荷物の引き渡し日から三カ月以内申し出れば損害賠償してもらえるからだ。

キャンセル料も各社が国土交通省の規定をもとに定めている。引っ越し二日前までなら無料だが、前日は一〇%以内、当日は二〇%以内の手数料がかかることが多い。